

このたびは、オンリーワン製品「手元調光器」XD3をお買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用になる前に必ず本説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

本製品は、フィラメントLED電球「Siphon」シリーズ専用となります。

- この取付・取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 施工（電気工事）には電気工事士の資格が必要です。
- 調光が安定しない場合は、調光の安定するツマミの位置でご使用ください。
- 調光の詳細については弊社まで直接お問い合わせいただくか、弊社ウェブサイトをご覧ください。
- 掲載されている商標・ロゴ・商号等に関する権利は、弊社又は個々の権利所有者に帰属します。詳しくは弊社ホームページをご参照ください。

仕様

ケースサイズ(ツマミ込み)	55mm(W)×50mm(H)×104mm(D)
質量	100g
材質	本体ケース:樹脂
調光方式	逆位相調光
電源電圧(周波数)	AC100V(50/60Hz 共用)
最大負荷容量	60VA
使用温度範囲	0~35℃(結露なきこと)
絶縁抵抗	DC500V 100MΩ以上
使用可能配線	Φ6mm以下(0.75sq以上の絶縁電線を使用すること)
付属品	六角レンチ×1、 絶縁被覆付圧着スリーブ×3 (使用可能電線サイズ:1.65mm ² まで、 電線被覆むき長さ:7.0-8.0mm、 適用工具:NH11、NH32NA3、NA10) ※配線方法によっては1つ余ります。

安全上のご注意 ※必ずお守りください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると死亡や重傷を負うおそれがある内容です。

- 浴室など湿度が高い場所や屋外、可燃性ガスの発生する場所には取付けしないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手で扱わないでください。火災や感電の原因となります。
- 周囲温度0~35℃以外では使用しないでください。故障や火災の原因となります。
- 紙や布や断熱材で覆ったり、燃えやすい物に近づけないでください。故障や火災の原因となります。
- 器具の改造、修理や部品の変更は行わないでください。故障、火災や感電の原因となります。
- 同一回路内にコンセントを設置しないでください。定格負荷を超え、異常発熱や火災の原因となります。また、他機器からのサージの影響により内部電子部品が壊れる場合があります。
- 最大負荷容量以上の器具を使用しないでください。異常発熱や火災の原因となります。
- 誤結線や負荷短絡をしないでください。調光器内部の半導体が一瞬で壊れ、発火の原因となります。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容です。

- 濡れた手でボリュームを操作しないでください。故障や感電の原因となることがあります。
- ボリューム軸を加工して、長さを変更しないでください。ボリューム破損による動作不良の原因となることがあります。
- ボリューム軸の固定ナットを強く(0.5N・m以上)締めないでください。ボリューム破損による動作不良の原因となることがあります。
- 配線に張力がかからないように配線工事を行ってください。断線、短絡や火災の原因となることがあります。
- 仕様の電源電圧以外で使用しないでください。感電や火災等の原因となることがあります。
- トリップテスト(ブレーカーテスト)は調光器の取付け前に行ってください。感電や故障の原因となることがあります。
- 定電圧トランス付器具(銅鉄式)や調光機能付照明器具などには使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- 電源に絶縁型トランスを設置しないでください。故障やちらつきの原因となることがあります。

ご使用上のご注意

- 本製品は、屋内専用です。
- 電源事情の悪いところでは電球がちらつくことがあります。異常ではありません。
- 調光時に内部の電子部品がうなり音を発生させることがあります。異常ではありません。
- 複数灯電球を接続した場合、明るさのボリュームが揃わない場合があります。異常ではありません。
- 本機は雑音防止回路を備えていますが、ラジオやオーディオ等のAV機器に雑音が入る場合は次の対策を行ってください。
 - ①AV機器のアースを確実に取ってください。
 - ②AV機器のチューナにはアンテナを張ってください。
 - ③本器と他の機器との間は、1m以上離してください。
- 適合負荷の電球以外をご使用になると、点灯しなかったり、調光できなかったり、ちらつくことがあります。仕様をご参照ください。
- 電球の交換時は、スイッチを切って、電球の温度が下がってから行ってください。
- 外観などの仕様は、予告なく変更することがあります。
- 点検せずに長期間使い続けると火災、感電などに至る場合があります。
- 清掃する際は、シンナーやベンジンなどの溶剤を用いしないでください。水または中性洗剤を湿らせて、よく絞ったやわらかい布でふいてください。
- 8~10年経過した調光器は、経年劣化による異常発熱や調光不良などの原因となることがあります。
- 3年に1回は、施工会社や工事店等による点検をお勧め致します。
- 本製品の不当な取扱による不具合、または不当な取扱によって生じた損害につきましては、弊社はその責任を負いかねますので、ご使用の際はあらかじめご了承ください。

ご使用方法

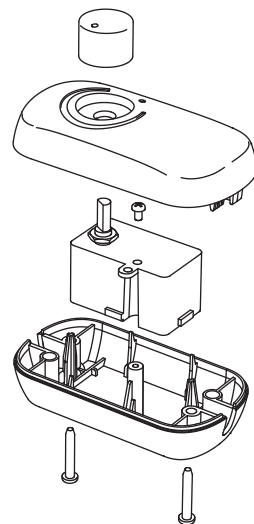
- ① ボリューム軸に付属のつまみを取付けてください。
- ② つまみを時計回りに回すとカチッと音がして点灯します。
- ③ 回転止めまで操作すると、それ以上は明るくなりません。
- ④ 時計と反対回りに操作すると暗くなり、カチッと音がして消灯します。

施工上のご注意

- 施工前によくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 電線は必ず0.75sq以上の絶縁電線をご使用ください。
- インパクトドライバーは使用しないでください。
- 調光器を複数使用しても、2か所で調光はできません。

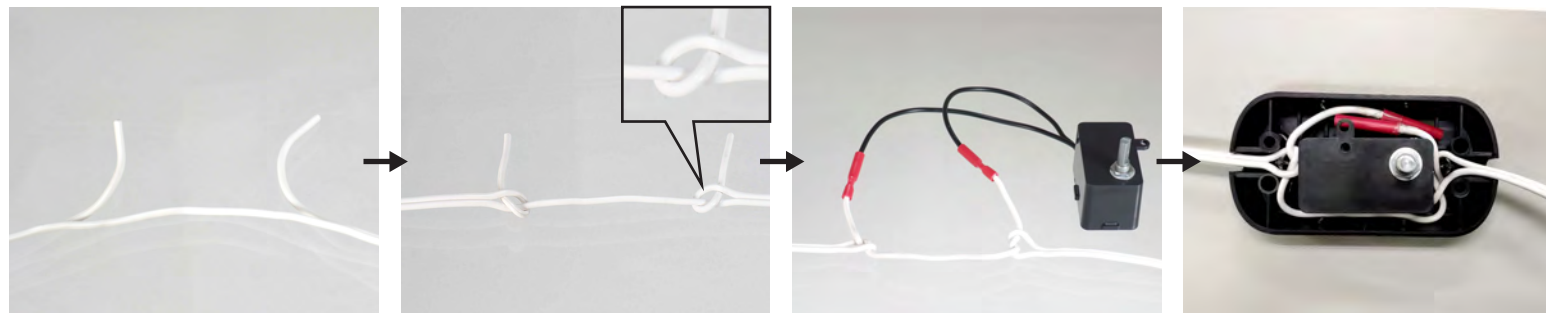
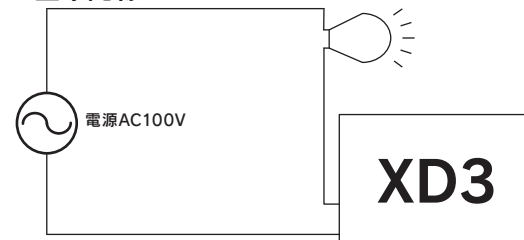
組立方法

- ① 結線図を参考に調光器本体から出ている2本の線に電源側と光源側の線を付属の圧着スリーブでそれぞれ接続してください。
- ② 接続部が短絡しないように、結線してください。
- ③ 接続した配線をケース本体内部に収めて、付属のネジで固定してください。
- ④ つまみを付属している六角レンチ(2mm)で固定して完成です。



結線図

<基本配線>



【結線上のご注意】

×同一電源配線内にコンセントを配線した場合ちらつきの原因となります

×光源は直列配線では使用できません
点灯・調光ができません

×コンセントと一緒に配線できません
過負荷による火災の原因となります

